

水曜討論

コロナ禍がもたらした東京五輪・パラリンピックの1年延期は、「スポーツに取り組みたいことができる環境」が当たり前の存在ではなかったということに私たちには気づかされた。とりわけ障害のある選手にとっては、外出を避け、人との接触機会を減らすことが社会の潮流を与えた影響は大きい。

障害者スポーツの試合や練習では、健常者の介助や支援が必要場面も少なくありません。練習環境の悪化の程度は競技・種目に異なりませんが、例えば、盲人の伴走が欠かせない陸上の視覚障害選手は満足な練習ができなくなりました。

一般論でいうと、呼吸機能が低下している障害者は感染で重症化する懸念があります。道内では練習環境を求め、時間をかけて長距離移動する選手が珍

道教大札幌校教授

安井 友康さん



やすい・ともやす 東京都出身。横浜国立大学大学院教育学研究科修了。神奈川県福祉施設で勤務後、道教大岩見沢校教授を経て2009年、道教大札幌校に移って現職。専門は特別支援教育。障害児者の余暇活動やスポーツの支援方法について研究している。57歳。

練習の地域格差 解消を

くありません。パラリンピックを狙うようなレベルになると、首都圏などの練習拠点に通う選手もいます。移動のリスクを冒さなくても練習できる環境の整備が急務でしょう。

トップ選手に限ったことではありませぬ。緊急事態宣言をきき

つかけにして地域のトレーニング施設が利用できなくなり、散歩のような軽い運動に取り組むのがやっと、基礎体力を維持することで精いっぱい、という選手もいたはず。

運動不足による障害の重症化も心配です。脳性まひ者は定期

の身体を動かさないと関節可動域が狭まります。こうしたことをO.L(生活)の質の低下を招きます。

一方で、宣言に伴う外出自粛は障害者スポーツの普及に新たな希望をもたらしました。社会で急速に広まり、すっかり市民権を得たZoom(スーパ)をはじめとするオンライン会議システムの活用です。

これまで札幌市で講習を開こうとすれば、道内あちこち遠隔地に住む障害者は長距離の移動を強いられました。障害者スポーツのアクセスには地域格差があったわけですね。

指導者が動画をメールで選手に送ることは以前からありましたが、動きを伝えるのは難しく、一方通行になってしまっている感じが否めませんでした。

オンラインなら指導者と選手のやりとりは双方向です。指導者がいなくても、少なからずります地域でも指導や普及に役立ちます。

ただ、オンライン指導は、取り組みが先行する学校などの教育現場でも手探り状態のため、障害者スポーツで活用するためにはノウハウを蓄積する必要があります。

また、無観戦試合が増えたネットのライブ配信を障害者スポーツに進めてはどうでしょう。競技のポイントを理解できるようにカメラワークを変えるなどして魅力を伝え、「もう一度見たい」と思わせることができれば普及にもつながります。

「障害者スポーツ」「パラリンピック」を知ってほしいという潜在的なファンの取り込みも狙えます。

コロナ禍によって今後の社会の見通しが利かず、障害者スポーツの選手や関係者は苦悶しています。一方で、不安定な現状は競技に向き合い直す好機ともいえます。障害者スポーツが発展するためには積極的な姿勢と挑戦が必要です。

コロナ禍と障害者スポーツ

新型コロナウイルスの猛威はスポーツに親しむ障害者の暮らしを脅かし、競技会を中止や延期に追い込んだ。障害者スポーツには介助者との接触が避けられない競技・種目がある。呼吸機能が低下していれば重症化する危険性は高まる。感染防止のきめ細かな配慮は欠かせず、経済の悪化で普及振興の支援も先細りが心配されている。コロナ禍で突きつけられた課題を踏まえ、コロナ時代を生き残る障害者スポーツの姿について道内2人の専門家に聞いた。

(旭川報道部 相武大輝)

国内・道内における新型コロナウイルス感染拡大と障害者スポーツ主要大会への影響の経緯

15日	神奈川県在住の男性がPCR検査陽性となり、日本国内初の新型コロナウイルス感染例となる
1月28日	中国からの道内旅行客が検査陽性を確認、道内初のウイルス感染例となる
14日	海外渡航歴のない札幌の男性の検査陽性が判明し、道民初の感染例となる。この後、道内各地で感染が拡大
20日	日本障がい者スポーツ協会がボッチャの国際大会「ジャパンパラ大会」(東京都・2月28日～3月1日)を中止すると発表
2月25日	道カーリング協会が北海道車いすカーリング選手権大会(3月・空知管内妹背牛町)の中止を発表
27日	安倍晋三首相、3月2日から春休みまで全国の小中学校、高校、特別支援学校の臨時休校を要請
28日	道が独自の「緊急事態宣言」発表。週末の外出自粛を求める
19日	道、独自の緊急事態宣言を終了
3月24日	東京五輪・パラリンピックの延期決まる
25日	日本車いすテニス協会などが飯塚国際車いすテニス大会(4月・福岡県)の中止を発表
7日	政府が東京や大阪など7都府県を対象に緊急事態宣言。期間は5月6日まで
4月10日	札幌市などが札幌市障がい者スポーツ大会(すずらんピック)中止を発表
16日	政府、緊急事態宣言の対象を全都道府県に拡大
4日	政府、緊急事態宣言の期間を5月末まで延長すると発表
14日	政府、東京や北海道などを除く39県で緊急事態宣言を解除
20日	全国高校野球選手権大会(8月・甲子園球場)の中止が決定
5月25日	政府、北海道を含む全都道府県の緊急事態宣言を解除
29日	道障がい者スポーツ協会がはまなす車いすマラソン(8月・札幌市)と北海道身体障がい者アーチェリー競技大会(8月・帯広市)の中止を発表
19日	日本スポーツ協会などが国民体育大会と全国障害者スポーツ大会(ともに10月・鹿児島県)の中止を発表
6月29日	プロ野球セ・パ両リーグが当初予定より約3カ月遅れて開幕
29日	道障がい者スポーツ協会が道障がい者水泳大会(9月)、道障がい者スポーツ大会、道身体障がい者ゲートボール大会、道障がい者ボウリング大会(以上10月)、道障がい者卓球大会(11月)の中止を決定
7月4日	サッカーリーグ1部(J1)再開

健康選手と比較した障害者選手の感染リスク

- 脊髄損傷や筋ジストロフィー、重度脳性まひなどの障害により呼吸機能が低下している場合、重症化する可能性が高いとされる
- 車いす、義肢、つえなどの使用者は手指以外に外部との接触部分があり、常時消毒することが望ましいとされる
- 重度の視覚障害や肢体不自由の場合、介助者が必須で、十分な「ソーシャルディスタンス」をとることが困難

※ 障害者全般が健常者より感染率・死亡率が高いという具体的なデータは存在しない
(日本障がい者スポーツ協会医学委員会の指針などを基に作成)

当事者の自立 支援必要

障害者スポーツ熱は今夏に予定されていた東京パラリンピックへ向けて高まり、選手を支援する業者も右肩上がりに増えています。しかし、新型コロナウイルス

ん

知的障害者は社会人になるとスポーツに親しむ機会が限られます。総合型地域スポーツクラブで受け入れる場合もあります。知的障害者に限って学ばせることが必要には見合っていない。

ところが生まれます。これまでも一部の専門学校は軽度の知的障害者を受け入れてきましたが、知的障害者に限って学ばせることが必要には見合っていない。

8月号

女性誌実売 No.1

日本ABC協会発行社レポート (2019年7～12月)

簡単! 便利! 楽しく!

スマホで

操50

わかつ

浴衣や薄物で 軽やかに

型紙

毎日首かき 自花の生 始失

ありがちな失敗

カンタン

基本のき